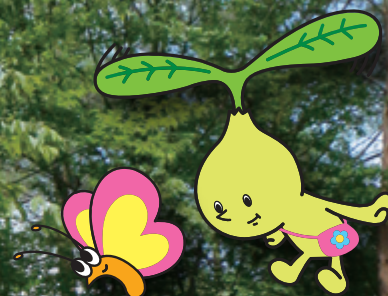


広報 ㊦
No.702
令和4年

いいたて

8
2022

特集 **いいたてで遊ぼう！**



www.vill.iitate.fukushima.jp



the most beautiful
villages
in japan

飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「移住サポートセンター」
- 4 特集「いいたてで遊ぼう!」
- 14 飯館百景「さわやか夏景色」
- 16 ほけんとふくし「いのちの詩」ほか NEW! 本田先生コラム
- 18 学びの広場「合宿通学」ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 村からのおしらせ
- 24 いいたてDIARY／ままでの食卓
- 25 はなれていても／ふれ愛館だより NEW! 村民広報委員コーナー
- 26 ふるさと資源 発掘図鑑
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき NEW! 村長コラム
- 28 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙
多品種のアジサイが咲く「村民の森あいの沢」を訪れていたのは、藁谷浩樹さん家族。全県が舞台の宝探し企画「コードF」に挑戦中で、いわき市から飯館村を訪れていました。村に隠された宝を無事に発見したところで、笑顔で撮影に協力してくれました。昨年に続く来村だったとのこと。またぜひ遊びに来てくださいね。

いいたて移住サポートセンターがオープン!

移住定住の総合窓口として、新体制でスタートしました

あたたかな雰囲気でお待ちしています

7月22日、環境共生型住宅『ままでの家』内に整備された、『いいたて移住サポートセンター』がオープンしました。日替わりで3人のスタッフが常駐し、移住や補助金に関する相談、村内の見学案内、情報発信など、移住・定住に関する幅広い業務を、福島再生加速化交付金を活用して行います。

式では杉岡村長が「当センターを中心に、『明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと』の実現に向け、移住される一人ひとりがふるさとの主人公として活躍できるよう尽力いたします」と、オープンへの思いを述べました。

本センターでは、飯館村への移住を希望される方からの相談に対応するとともに、移住後の相談にも丁寧に対応することで、相談に来られた方々の不安を把握、解消していきます。親身になつて対応することで、飯館村での充実した交流や、さらなる移住・定住の実現へとつなげていきます。



村役場のすぐ隣り。移住に関する情報や村を紹介する資料などもそろっています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

村の情報や魅力、移住に関する情報を発信していきます。



Instagram



facebook

いいたて移住サポートセンター

開所 平日午前9時から午後5時30分
土日祝日は事前予約のみ対応
住所 飯館村伊丹沢字伊丹沢578番地1
(ままでの家)
電話 090-8280-5464
メール iju@iitatelife.jp



サポートセンター内部は、木の香りとぬくもりに包まれた、“おうち”のようなあたたかい雰囲気です。相談業務は、座敷、テーブル、お客様の好みの場所に対応します。エコモデルハウスならではの造りにもご注目ください。



サポートセンターの窓口となり、相談業務を行うスタッフの皆さん。常に明るく楽しく、和気あいあいとした雰囲気でお迎えます。写真左から佐藤郁子さん(草野)、高木久子さん(大倉)、山田郁子さん(伊丹沢)。

開所式



開所式には杉岡村長(左から4人目)、佐藤一郎村議会議長(同5人目)、長正増夫行政区長会長(右端)をはじめ、荒井崇復興庁福島復興局長(右から3人目)ら関係者が出席し、テープカットを行いました。

掲載の情報は7月26日時点のものです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、変更が生じる場合もありますのでご確認の上お出かけください。また感染症対策、熱中症対策も万全にお願いします。

特集

いいたてで遊ぼう！

皆さん、どんな夏をお過ごしですか。この特集では、村内の数あるおすすめスポットを紹介
します。取材をしてみると、村民はもとより、村外からもたくさんの方が訪れて村を楽しん
でいる様子。皆さんも、自分にぴったりのスポットを見つけてぜひ訪れてみてください。

いいたてパークゴルフ場



高橋則雄さん・ヤス子さん(二枚橋・須萱)

コース自体も長い
し間隔も広々で
いいよね。夫婦で
パークゴルフを楽し
んでいます。

滑り台などで体を
動かした後は積み
木で家を作ったりド
ミノ倒しをしたり。
遊びが広がります。

ひみつ基地どきどき



眞柴優佳(まさか)さん、鳳士(ふうと)君、
紬ちゃん、一颯(いぶき)君(飯樋町)



あいの沢オートキャンプ場



横山健(たける)さん(県派遣職員／福島市)

ウッドチップを敷
いたサイトがゆっ
たり配置されてい
ます。自然に囲まれ
美しい星空も満喫！

いいたて村のドッグラン わんこの庭のびのび



高橋弘典さん、千安希さん、奏和(かな)さん
と愛犬のふう君(南相馬市)

広々として芝もきれ
い。ふう君が喜びま
す。道の駅なども利
用しながら毎月の
ように来ています。

いいたてスポーツ公園



FCレグノヴァ・コーチ 杉内健二さん(福島市)
※FCレグノヴァは福島市のサッカークラブ

雨天でも使える人
工芝のピッチがい
いですね。複数の
チームで試合に來
ています。



山津見神社

飯館村佐須字虎捕266

☎0244-42-0846

※社務所は午前9時～午後5時／火曜日定休



広く県外からも参拝客が訪れる山津見神社。山の神の眷属(けんぞく)とされるオオカミが、狛犬にも、天井絵にも、お札にも描かれています。自動車に貼るシール式のお守りは要望を受けて復刻したもの。今年の例大祭は11月10日(旧暦10月17日)です。



もう味わった? pick up!

気まぐれ茶屋 ちえこ

飯館村佐須字佐須200

☎0244-42-1303



飯館の食文化に親しめる貴重なスポット。コロナ禍の現在は完全予約制で、デリバリーやテイクアウトにも対応。人気のどぶろくも購入できます。

- 時 木・金・土・日曜日の
午前11時30分～午後3時
完全予約制※5日前までに予約
- 休 月・火・水曜日※予約は応相談
※12月下旬から3月は冬季休業

村カフェ753 (なごみ)

飯館村深谷字市沢193-1

☎0244-26-7536 (FAXも同じ)



国産小麦と天然酵母を使ったもちもちベーグルが大人気。村の食材の魅力を引き出す創作ベーグルの数々は、そのアイデアとおいしさに感動です!

- 時 午前10時～午後4時(午後はデリバリー)
- 休 土・日曜日、祝日、年末年始
デリバリーは前日午後1時までFAXで注文
(注文用紙はホームページから)
<https://www.muracafe753.com>
遠方の場合是要相談

知ってる?

pick up!

いいたてまでいな再エネ発電所

飯館村飯樋字花塚山1-2



太陽光発電と風力発電を効率よく組み合わせる国内初のクロス発電所。視察・見学のお申し込みは「いいたてまでいな再エネ発電株式会社」まで。
☎0244-32-1828



手打ちうどんの店 糸びす庵

飯館村飯樋字町374-1

☎0244-43-2018

手打ちうどんも定食もボリューム満点。たくさんの具材、丁寧な調理、食べる人への思いやりにあふれたやさしい味わいに大満足。

- 時 午前11時～午後3時
※ラストオーダー 2時30分
(夜は予約のみ)
- 休 毎週火曜日、年末年始



2022夏

いいたてで遊ぼう! インデックス INDEX



注目スポット



ゲストハウス COCODA

飯館村飯樋字原358
☎070-1159-9690
メール:cocoda.399@gmail.com



寝室は6畳の洋室2つと10畳の和室。部屋に付けた名前は村にちなんで「花塚」「うぐいす」「やまゆり」。



ソファが置かれた2階の共有スペース。木の温もりいっぱいの空間に温かみを添える小物たちが印象的。

気軽に自由にのんびり過ごそう
故郷と旅人をつなぐ
ゲストハウスへようこそ

Instagram



「のんびりゆっくり過ごしてほしい。何もないからこそ、緑の景色やカエル合唱、ホタルや星空もいものですよ」と大澤和巳さん(上飯樋)。生まれ育った故郷にログハウスを建て、ゲストハウスをオープンしました。きっかけは、多国籍の旅人が交流する海外のゲストハウスを体験したこと。夢を温め、何年もかけてこの計画を進めてきました。

庭先にバーベキュースペースがあり、宿泊なしの利用もOK。現在は仕事の都合で金・土・日曜日のみの営業ですが、来春からは本格稼働の予定です。将来的には収穫体験ができる農業用ハウスやオートキャンプのサイトも設けたいと構想中。「育ててもらった飯館を盛り上げる仲間の一人になれば」と。大澤さんの故郷愛へのチャレンジは続きます。

注目スポット



田舎料理レストラン La Kasse

ラ カッセ

飯館村二枚橋字本町193-3

☎0244-42-1228

時 午前10時30分～午後2時(ラストオーダー1時30分)

午後4時30分～午後7時(ラストオーダー6時30分)

※日曜日は午前10時30分～午後2時(ラストオーダー1時30分)

休 毎週月曜日



和やかに賑わう店内。写真は「飯館フラクラブ」の皆さん。「村内で練習を再開した記念に」と来店。



ルッコラとつるむらさきのパスタ。全メニューに、前菜・サラダ・スープ、さらにデザート・ドリンクが付きます。

地元食材を生かすレシピで
農家さんの顔が見える
レストランにしたい

民家の趣を残した店内。心地よい音楽が流れ、料理を楽しむお客様の笑顔があふれています。6月のオープン時にメディアで取り上げられたこともあり、遠くから訪ねてくださる方も多かったです。

「オーソドックスな洋食からスタートしましたが、さらにいろいろな物を召し上がっていただきたい」。子どもの頃からの夢を叶えて故郷にレストランを構えたオーナーシェフの佐藤雄紀さん(二枚橋・須萱)。今後は2、3か月ごとにメニューを入れ替え、お客様をもてなそうと考えています。「ナスの油炒めをパスタに組み合わせたい。桃を使ったカレー、そして冷製パスタも」とアイデアが止まりません。

「村内・県内の食材を中心に料理をつくり、農家さんの顔が見えるレストランにしていきたいです」。



ポット
注目



やすらぎ工房 飯館工場

飯館村草野大師堂113-37
☎0244-42-0333 / 024-533-0418
⓪ 不定休
来店前に連絡を。工場の見学は
イベント開催時などに限ります



海外にも数多く出荷される「牛刀
梨地磨き」。依頼をすれば名前を刻
んでもらうこともできます。



オレンジ色の炎が吹き出す炉に鋼
をのせた地金を差し入れる貴大さ
ん。鍛接(たんせつ)の工程。

飯館でつながり根づいた
「ものづくり」への
新しいアプローチ



空き家を購入し引っ越しをし
たばかりの二瓶貴大さん、麻美さ
ん夫婦(大倉)。旧草野幼稚園を
改修し刃物の一貫生産を行う鍛冶
工房を開所したのは令和元年のこ
と。貴大さんはここに生産拠点を
整え、さらには藤安将平刀匠(福
島市)に師事して刀鍛冶も学んで
います。二方の麻美さんは地域おこ
し協力隊となり、手づくりの逸品
が全国から集まるマルシェ型イベン
ト「山の向こうから」を開催。互い
に「ものづくり」をテーマに、村に新
風を吹き込んできました。

新居はいずれ「体験で工房を訪
れる人と交流できる場所にした
い」と考えているそう。ごく自然
に、村に暮らした仕事を根づかせ
ています。「同世代の人、新しいス
ポットも年々増えて、つながり合っ
ていくことが楽しいです」。

ポット
注目



工房マートル

飯館村飯樋原361
☎070-8498-5765
営業日は週末の金土日曜日
(臨時休業あり)



キャンドルの展示・販売も行ってい
ます。休憩スペースもあり、居心地の
よさについ長居をしてしまいそう。



制作の用具が並ぶ工房の一室。
ワークショップ(予約制)も庭を望
むこのスペースで行います。

優しい時間が流れる
キャンドル工房で
花物語に出会う

ろうそく作家の大槻美友さん
(草野)が、民家を借り受け、こつこ
つリフォームしてきた工房です。手
がけるのは、村内・県内の花を使っ
た、詩情豊かなボタニカルキャンド
ル。金・土・日曜日のオープンを基本
に、予約制でワークショップも受け
付けます。また、地域おこし協力
隊の一員でもあり作品が「ふるさと
納税」の返礼品にもなっている他、
新作の開発も続々と。香りに物語
を添えたアロマなども人気です。

「村の方はフレンドリーで壁がな
い」。大槻さんは、これまで築いてき
たつながりを大切に、協力隊卒業
後もこの工房を拠点に活動が続け
ます。7月末には企画展「花のあ
る暮らし展」を開催。「キャンドル
にさまざまなアイテムを組み合わ
せて暮らしの提案ができれば」と、
工房の未来を描いています。

Instagram





いいたてで遊ぼう！ 村民の森あいの沢

飯館村深谷字市沢166-6(きこり)

「あいの浮き橋」がかかるため池を中心とした50ヘクタールの広大なエリア。入浴や岩盤浴が楽しめる「宿泊体験館きこり」、公募した俳句を特産のみかげ石に刻んだ「愛の句碑」群などが、自然豊かな風景の中に点在します。リニューアルをしながら再開エリアを一步步つ広げ、この春からはオートキャンプ場のモニター利用が始まりました。



あいの沢には4人の管理人がいます。管理棟では木工体験もできますよ。秋には森に巣箱をかけたいと思っています。ぜひ遊びに来てくださいね。

あいの沢管理人
森の案内人
高野靖博さん



木工作品。木の温もりに癒されます。

村民の森あいの沢 オートキャンプ場

☎0244-42-0511(管理棟・午前9時～午後4時)

モニター利用期間のため無料

(アンケートにご協力をお願いします)

※予約は3か月前から受け付け。※炊事場・トイレ・AC電源があります。※シャワーは1回100円です。その他詳しくはお問い合わせください。



オートキャンプ場



宿泊体験館きこり



宿泊体験館きこり

☎0244-42-1012

※電話受付午前9時～午後6時

日帰り入浴 午前10時～午後8時(退館)

※最終受付午後7時30分

イオラ(岩盤浴) 午前10時30分～午後5時25分

※最終受付午後4時30分

■宿泊棟改修のため宿泊はコテージ風客室(素泊まり)のみ



いいたてで遊ぼう！ 深谷復興拠点エリア

飯館村深谷字深谷前12-1(道の駅)

県道原町川俣線(12号線)沿いに広がる「深谷復興拠点エリア」。東日本大震災からの復興を前進させる拠点として「いいたて村の道の駅までい館」「ふかや風の子広場」「ひみつ基地どきどき」「いいたて村のドッグラン」わんこの庭のびのびなどが数年をかけて整備されました。何度訪れても楽しい、おもてなしのアイディアに満ちた憩いのエリアです。



いいたて村のドッグラン わんこの庭のびのび

時 午前10時～午後4時(受付は終了時間30分前)

※10月～3月は午後3時で終了

休 毎週水曜日、年末年始

料 1回(1頭)500円/道の駅レジで受付

時 午前10時～正午、午後1時～2時30分、
午後3時～4時の時間で入れ替え制

休 毎週水曜日、年末年始

☎0244-26-7340



ひみつ基地どきどき



いいたて村の道の駅 までい館

までい館では8月7日に「いいたて夏まつり」、12日に「5周年感謝祭」が開催されます。



夏野菜冷やし蕎麦
(季節限定/数量限定)

時 午前9時30分～午後6時
※11月～2月は午後5時まで

休 毎週水曜日

☎0244-42-1080

■併設のコンビニは無休

(午前6時～午後8時)

■公衆トイレも無休(24時間)



村が苗を提供し村農家に育ててもらったパプリカなどの「彩り野菜」も間もなく直売所に並びます。

遊びに来てね
待ってます



広場にポケモンがデザインされたマンホール「ポケふた」があります。探してみてね!

© 2022 Pokémon. © 1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。



阿部勝男さんの自宅周りの農地に広がる一面のヒマワリ畑は7月上旬に見頃を迎えました。長く楽しんでもらおうと時間差を設けて種を蒔いた遅咲きのエリアもあり、ピンクのコスモスも彩りを添えます。

飯舘 百景

さわやか夏景色



青空を映す水面にピンク色のスイレン(深谷)



つづら折りの道を縁取る優しい色のアジサイ(長泥)



路肩に咲いた大輪のヤマユリ(関根・松塚)

あつという間に過ぎ去った短い梅雨に驚いたのも束の間、雷雨や豪雨にもまた驚かされ、気温も上がったり下がったりの7月でした。

それでも淡々と季節を進めていたのは花々です。水辺で畑で里山で。たくましく咲き、夏の到来を告げていました。

阿部勝男さん(佐須)は、自宅周りの農地に毎年一面のヒマワリを咲かせています。「今年はヒヨウの被害もあったけれど、何と

か咲いてくれたね」。楽しみに待つ人の笑顔を思いながら、今年も手をかけて咲かせたヒマワリです。

それぞれの植生を持つため池にも夏の花が咲きました。深谷地区の県道沿いのため池では、ピンク色の小ぶりのハスの花が青空を見上げていました。

また、アジサイも各所で咲き、道行く人を和ませました。来春の避難指示解除を目指し準備が進む長泥地区でも、住民が避難先から通って手入れをしているアジサイが、里に降りていくつづら折りの道を優しく彩っていました。

そして今年は、村内のあちらこちらで、艶やかに咲くヤマユリを数多く見かけます。震災後の除染による表土のはぎ取りやイノシシの被害で年々減少傾向にあると言われてきたヤマユリですが、「飯舘に夏が来たね」と言わんばかりに、いきいきとした姿を見せています。

農業委員会からのお知らせ 〈農地転用〉について

問 飯館村農業委員会 ☎0244-42-1621 (産業振興課農政第一係内)

農地または採草放牧地(原野)の売買・贈与・貸し借り等には〈農地法第3条〉の許可が必要です。

農地(田・畑)または採草放牧地(原野)の所有権移転(売買、贈与など)、賃借権設定、その他の使用貸借などを行う場合には、農地法第3条の規定により、農業委員会の許可を受ける必要があります。詳細は農業委員会に事前にご相談ください。

農地転用には〈農地法第4条または第5条〉の許可が必要です。

「農地法第4条」とは、農地の所有者が自ら農地を農地以外(宅地など)にする場合です。「農地法第5条」とは、農地を農地以外(宅地など)にする目的で売買したり、貸し借りする場合です。

農地転用とは▶

農地(田・畑)または採草放牧地(原野)を住宅や太陽光発電設備・事務所・駐車場・資材置場など農地以外のものにすることをいいます。工事などで一時的に農地を資材置場や残土捨場として使用する際も農地転用の許可が必要になります。

転用の許可を受けるには▶

農業委員会へ申請書の提出が必要です。農業委員会で内容を審議後、意見書を付して県へ進達し、県知事が許可をすることになります。また、その農地が農振農用地区域(農振地域)の場合は、あらかじめ農振農用地区域(農振地域)から除外(農振除外)をしておく必要があります。

許可なく転用したら▶

無断で転用した場合には、農地法違反となり、工事の中止や原状回復などを命ぜられることがあります。これに従わない場合には、罰則として3年以下の懲役または、300万円以下の罰金が科せられる場合があります。

許可を受けたら▶▶

上記の許可を得ただけでは、土地の所有権移転や地目変更、分筆の登記はされません。許可を受けたまま登記をしないで放置しておく、後々トラブルの原因にもなります。自己の権利を守るためにも、早めに登記を行うようにしましょう。

いいたて美しい村づくり推進条例の届け出について

問 飯館村村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613

令和2年7月1日に施行された「いいたて美しい村づくり推進条例」により、下記の開発行為を開始する際に村の許可が必要となりました。また、既存の建築物・工作物につきましても、景観や環境に悪影響を及ぼすと判断される場合には、「いいたて美しい村づくり推進審議会」へ意見を伺い、指導・命令等を行う場合がございます。なお、高さ13m以上の携帯電話基地局の新設など、福島県景観条例における手続きが必要な工事につきましても、別途、届け出が必要です。県の手続きを行う前に本村までご相談ください。



詳しくは村HPでご確認ください

届け出が必要な開発行為

- 再生可能エネルギー発電設備の設置のための行為(建築物の屋根または屋上に設置する設備は除く)
- 一般廃棄物処理施設の設置のための行為
- 産業廃棄物処理施設の設置のための行為
- 屋外広告物の設置のための行為(設置から撤去までの期間が概ね10日間程度である屋外広告物は除く)
- 大規模な建築物・工作物に関する行為 高さ13m超または建築面積1,000㎡超の建築物または工作物の新築・移築・増改築・外観に影響を及ぼす修繕・模様替えおよび色彩の変更
- 大規模な堆積に関する行為 屋外における高さ3m超または使用する土地の面積が500㎡超となる物件の堆積。ただし、建築物等の工事に伴う一時的な資材等の堆積は除く
- 上記1～6の準備のための工事(支障木伐採等)

※村に届出書の提出があつてから、許可または不許可の通知を行うまで、2か月程度の期間を見込んでおります。

topic! 話題

県立医大の実習が行われています

村民を対象にレクリエーション実習

村が包括連携協定を結ぶ福島県立医科大学・保健科学部作業療法学科の実習が、村内で続いています。7月1日・8日には、同学科の1年生が、「基礎作業学実習Ⅰ」の授業として、いちばん館で「レクリエーション実習」を行いました。学生の皆さんは、企画や運営、参加者とのコミュニケーションを通して、作業療法としてのレクリエーションの活用やコミュニケーションスキルを学びます。

今回の実習には、サポートセンター「つながっぺ」の利用者をはじめ各地域の皆さんが協力。学生との交流やレクリエーションを大いに楽しんでいました。

参加者は、風船バレー、ポッチャなどを
楽しみ学生と親しく交流しました

学生の渡邊沙耶さん(右)とレクリエーションに参加した坂井正子さん(飯樋町)

また会いたいな。

皆さんが楽しんでくださったことが嬉しかったです。

本田先生に聴く

うた
こころとからだといのちの詩

第1回 メンタルケアについて

古代ギリシャの哲学者ソクラテスは、「魂の世話」をすることが、自分の務めだという意味のことを、対話篇の中で繰り返し述べています。メンタルケアとは、まさに、「心の世話」のこと。すべての人が、体も心も、そして社会的にも、健康に生きていけるように、支援したり、自身の健康に気を配ったりしていく、考え方や技術のことを言います。近年、メンタルケアが、学校でも職場でも家庭でも重視されるようになってきたのは、さまざまな社会的問題の深刻化の中で、心の健康を保つことがむずかしくなっている背景があります。とくに、

福島県は、11年前の大地震・津波後の原発災害により、多くの県民が体や心に大きな痛みをこうむり、環境にも重大で長年続く被害が生じました。相馬のメンタルクリニックで、長年診療を続けている蟻塚亮二医師は、「心の災害」という言葉で、この問題に取り組むことの重要性を訴えています。一番大切なことは、心が苦しいとき二人で抱え込まず、信頼できる人や団体に相談することです。

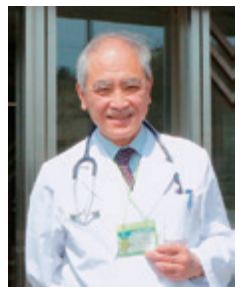
《飯館村のこころ・からだの相談窓口》

飯館村健康福祉課健康係☎0244-42-1637 月～金曜日8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)

《被災者相談ダイヤル》

東日本大震災による避難生活での不安や気持ちが落ち着かず誰かに話をしたい時など
ふくここライン☎0120-783-295 月～金曜日9:00～12:00/13:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

《よりいホットライン》(社会的包摂サポートセンター)

24時間、様々な悩み相談に対応。通話料無料、携帯電話からも通話可能
岩手・宮城・福島県から☎0120-279-226/岩手・宮城・福島県以外から☎0120-279-338いいたてクリニック
本田 徹 先生

医師として国内外の医療現場で活躍。阪神・淡路大震災、東日本大震災の被災地でも最前線で医療に携わりました。現在は飯館村在住で「いいたてクリニック」の診療(火曜日)と訪問診療を行っています。

民具資料を調査・整理しています



生涯学習課では、村内の小学校に保管されていた民具資料や昔の道具を、村文化財保護審議員の皆さんと整理・調査しています。民具は、農作業や養蚕の道具、木挽きで使った大きな鋸など山仕事の道具、炭焼きの道具など200点以上。山と共に生活してきた飯館の特徴的な民具も見られます。民具は、衣・食・住など用途別に分類し、清掃後、計測・撮影し資料カードに記録します。将来的には、文化祭での展示などで村民の皆さんに見ていただいたり、学校教育の場で活用したりして、未来に遺していきたいと考えています。

わくわく農業体験塾 夏野菜からスタート!



野菜づくりを村の名人に学び、参加者同士の交流を通して充実した時間を楽しむことを目的にした「わくわく農業体験塾」がスタートしました。6月4日に実行委員会が開かれ、「作物管理を学びたい」「みんなで収穫祭をしたい」など、今年行いたいことを話し合いました。その後、村内の圃場にてナスやオクラ、ヤーコンなどの苗を植え、土の感触を味わいました。齊藤次男塾長(深谷)と、12人の塾生が夏野菜の成長を楽しみに活動しています。新規塾生として参加してみたい方は、生涯学習課 ☎0244-42-0072 までお問い合わせください。



防災体験でテントを設営しました



それぞれの願いを短冊に込めて飾りました



村内のレストラン「La Kasse(ラカッセ)」を訪れコース料理を堪能。食事のマナーも学びました

今まであまり話していなかった友達と仲良くなったのがうれしかったです。

協調性を養い、楽しい思い出をつくる」ことを目的としています。役場職員、給食調理員、福島大学の学生ら計20人がスタッフとして参加し、安全確保や見守りなどのサポートを行いました。初めは楽しさで興奮気味だった児童たちでしたが、閉講式では、初めて一人でできたことやスタッフへの感謝を各々が発表し、13年ぶりの合宿通学が幕を閉じました。参加した児童の達成感に満ちた表情が、体験の充実を物語っていました。



食事の準備も協力しながら行いました

幻想的な時間を過ごしました



大野智裕先生を招いて開いた「星の教室」



宿題や振り返りもしっかり取り組みました

初めて自分で洗濯機を使って、洗濯ができました。おうちでも頑張りたいと思います。

わくわくどきどき合宿通学

7月2日から9日にかけて、『令和4年度わくわくどきどき合宿通学』が行われました。参加者は、「いたて希望の里学園」の4～6年生の児童、計16人。飯館村地域防災センターに宿泊し、食事の準備や片付け、掃除・洗濯など、各班で分担し協力して取り組んでいました。



配膳・片付けも力を合わせて丁寧に



最後の夜には花火を楽しみました

体験も盛りだくさん

マイ箸づくり
ナイトプール
バーベキュー

風力発電所を見学
星の教室
七夕飾り
夜の花火
レストランで食事



食事には、初日に自作した箸を使って

世界に一つオリジナルの箸だよ

私たちのためにお手伝いをしてくれたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

元気はつらつ好プレー！ グラウンド・ゴルフ交流大会



大会を終えて和気あいあいと記念撮影。はつらつとスポーツを楽しむ姿、見習いたいですね。

7月16日、第11回『村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会』兼第19回『飯舘村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会』が、「いいたてスポーツ公園」陸上競技場で開催され、41人が特設コース（8ホール）で3回ずつプレーし順位を競いました。熱戦の結果、男子の部は佐藤次雄さん（八木沢・芦原）、女子の部は杉浦オナスさん（伊丹沢）が優勝しました。杉浦さんは女子の部最高齢の88歳。男子の部の最高齢は長谷川利治さん（前田）の90歳で、元気なプレーが輝いていました。

佐須地区と比曽地区で 郵便ポストの取集を再開

7月4日、佐須地区と比曽地区で郵便ポストの取集が再開され、杉岡村長、乙坂覚（おとさかさ）とる）福島中央郵便局長が現地であいさつし、地区の皆さんと新たな一歩を喜びました。

佐須地区では菅野宗夫区長が「ポストをよき友として活用したい」と区民に宛てたハガキを投函。比曽地区では菅野義人区長が「大切な一歩を地区の皆さんと喜びたい」と家族に宛てた手紙を投函しました。この再開により、村内で稼働する郵便ポストは合わせて8か所となりました。



佐須地区のポストは佐須公民館の敷地内に移設し取集を再開。



比曽地区は震災前と同じ場所に新調。「ここを出せると助かるね」。

株式会社ダイサンの畑で 女子野球選手が野菜を収穫



熱心にミニトマトを収穫する、女子野球チーム『はつかいちサンプレイズ』の西山選手（左）と和田選手。

7月19から21日、広島県にある女子硬式野球の企業チーム『はつかいちサンプレイズ』の西山小春選手と和田菜由乃選手が、飯舘村で野菜の収穫作業を行いました。収穫したのは、株式会社ダイサン（前田・八和木／本社：広島県）が栽培するインゲンとミニトマト。同社は、飯舘村の農産物をイベントの際に販売するなど、村との交流を続けています。2人は収穫中も終始笑顔で、「とっても楽しい!」「大きくて美味しそう!」などと、充実感に満ちた表情で作業に取り組んでいました。

『社会を明るくする運動』で 犯罪や非行のない地域社会へ

7月1日、飯舘村人権擁護委員が役場を訪れ、『第72回社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式』が行われました。『社会を明るくする運動』とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

式では、『社会を明るくする運動』の推進とともに、一人ひとりが生きがいをもち、生きがいを感じるふるさとづくりなどについて、意見交換を行いました。



左から多田宏さん（宮内）、杉浦正子さん（伊丹沢）、石井せんさん（白石）、杉岡村長。

飯舘村長杯をかけて初開催 パークゴルフ大会でわくわく！



親しい仲間と楽しむ大会です。右の写真は第1回の村長杯を獲得した高野さん（右）と佐藤さん。



7月24日、「いいたてパークゴルフ場」で、第1回『飯舘村長杯パークゴルフ大会』が開催されました。開会式では杉岡村長が、日頃の取り組みを讃え「プレーを楽しんでください」と開幕を宣言。出場者50人が、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。〈大会結果〉男子の部：優勝・高野孝一さん（前田・八和木）、準優勝・佐野幸正さん（前田・八和木）、第3位・渡邊守男さん（小宮）／女子の部：優勝・佐藤千代美さん（村学童保育指導員）、準優勝・北原澄子さん（宮内）、第3位・北山文子さん（飯樋町）

更生保護女性会と保護司会が 学園で朝のあいさつ運動

7月14日、飯舘村更生保護女性会（杉浦正子会長／伊丹沢）と飯舘村保護司会（石井せん会長／白石）の皆さんが、「いいたて希望の里学園」で朝のあいさつ運動を行いました。当日は、12人の方が学園の昇降口に立ち、登校して来る子どもたちをにこやかに迎え、「おはようございます」「元気でいってらっしゃい」と一人ひとりに声をかけました。子どもたちは、大勢の出迎えに少しはにかみながら、「おはようございます」「いってきます」とあいさつを交わし、笑顔で校舎に入っていました。



優しい眼差しで「みんな孫（と同じに思える）よね」と両会の皆さん。微笑ましいやりとりが続きました。

参議院議員選挙 村内の選挙結果について

7 月10日投開票の第26回参議院議員選挙について、村内の選挙結果をお知らせします。期日前投票と当日投票を合わせた投票率は47.03%で、前回参院選の投票率46.92%を0.11%上回りました。

【当日有権者数】 4,410人（男 2,245人・女 2,165人）

【投票者数】 2,074人（男 1,108人・女 966人）

【投票率】 47.03%（男 49.35%・女 44.62%）

選挙区 ※届け出順

皆川 まきこ	34票
小野寺あきこ	714票
窪山 紗和子	45票
佐藤 早苗	107票
星 北 斗	1,130票

比例代表 ※届け出順 ※按分された票数が小数点第3位まで記載されています。

幸福実現党	3票	日本第一党	2票
日本維新の会	85票	日本共産党	103票
れいわ新選組	53.100票	新党くにもり	4票
公明党	217票	自由民主党	969.899票
ごぼうの党	12票	社会民主党	92票
立憲民主党	273.268票	NHK 党	40票
国民民主党	68.731票	維新政党・新風	4票
参政党	41票		

7月の村の動きと主なできごと

- 1日・「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ伝達式（村役場）
- 1・8日・福島県立医科大学保健科学部 レクリエーション実習（いちばん館）
- 2・9日・わくわくどきどきき合宿通学（飯館村地域防災センター）
- 3日・比曽地区基盤整備等住民説明会（比曽集会所）
- 4日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 8日・郵便ポスト取集再開セレモニー（佐須地区・比曽地区）
- 8日・乳幼児健診（交流センター「ふれ愛館」）
- 9日・いきいきわくわく学びの旅・希望の里WAKUWAKUEツアー事前研修（飯館村地域防災センター／オンライン）
- 10日・参議院議員選挙 投開票（投票：村役場・とうほうみんなの文化センター／開票：交流センター「ふれ愛館」）
- 11日・畜産農家との意見交換会（飯館町集会所）
- 13日・ゆずカフェ認知症カフェ（交流センター「ふれ愛館」）
- 13・27日・福島県立医科大学保健科学部 実習（いたてホーム）
- 14日・第6回男女共同参画計画策定委員会（交流センター「ふれ愛館」）
- 14・15・17・19・20・21日・集団健康診断（いちばん館）
- 16日・村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会兼第19回飯館村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会（いたてスポーツ公園）
- 17・18日・プール開放（いたて希望の里学園）
- 20日・農業委員会定例会（村役場）
- 21日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 22日・いたて村移住サポートセンター 開所式（現地※まだいな家）
- 23日・第1回いたて村文化祭実行委員会（交流センター「ふれ愛館」）
- 23日・いきいきわくわく学びの旅・希望の里WAKUWAKUEツアー事前研修・結団式（交流センター「ふれ愛館」）
- 23・25日・新型コロナワクチン4回目接種 集団接種（いちばん館）
- 24日・飯館村長杯パークゴルフ大会（いたてパークゴルフ場）
- 26日・飯館村議会第5回臨時会（議場）
- 28日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 28日・固定資産評価審査委員会（村役場）
- 29・31日・駅伝合宿（いたてスポーツ公園）
- 30日・ナイター駅伝（いたてスポーツ公園）
- ・はやま湖花火大会（大倉地区・はやま湖）

話題のパレット

土湯の秘湯『赤湯好山荘』

7月1日、赤湯温泉（福島市）の一軒宿『赤湯好山荘』が、リニューアルオープンしました。赤湯好山荘は、約50年前から飯館村民が数多く足を運び、長年つながりがあったそう。高橋仙治さん（長泥）と奥様の久子さんが跡継ぎとして、旅館の運営に携わっています。福島県沖地震により大きな被害を受け、改修工事が続いていたことが、7月に念願の再開。明るく親しみやすい雰囲気、多くの人から愛され続けています。

高橋仙治さんと義母で女将の今泉ヒロ子さん



赤湯好山荘のシックな外観

「あぶロマ フォトコンテスト」の報告



紅葉のはやま湖を写した入賞作品を受け取る杉岡村長と協議会の皆さん

国道399号線が結ぶ飯館村・浪江町・津島・葛尾村・田村市都路・川内村でつくる『あぶくまロマンチック街道構想推進協議会』がフォトコンテストを初開催。その入賞作品が決定したことから、松本順子会長ら協議会役員の皆さんが7月7日に来庁し、杉岡村長にコンテストの結果を報告しました。入賞作品は、同協議会のホームページに掲載される他、イベントなどで展示を行うそうです。



福大オープンキャンパスで村を紹介

7月16日、福島大学でオープンキャンパスが開催され、食農実践演習飯館村フィールドの学生が、来場者に飯館村を紹介するイベントを行いました。このイベントには、100人以上の高校生・保護者が参加。学生が、おすすめスポットをまとめたポスターの展示、特産物などを紹介するリーフレットの配布、菜の花の押し花を用いて手作した葉のプレゼントなどを行いました。



飯館村消防団が実動訓練を実施

飯館村消防団（赤石澤傳団長／飯樋町）が、「消防技術向上と次世代への継承」を目的に、団員及び役場消防隊を対象とした実動訓練を、6月と7月に各1回実施しました。訓練では、交流センター「ふれ愛館」にて、参集訓練、ホースの展張・結合訓練、消防ポンプ取り扱い等の基本訓練及び放水訓練を実施。今後も継続的に行うことで、地域防災力の向上を図っていくということです。

はなれていても

泉初男さん（長泥 福島県福島市在住）



長泥の草刈りは皆本気だよ。30人位集まって、トラクターも10台ほど出て地域の手入れをやっている。我が家は解体してしまっ

たが、トラクターなど重機を入れる小屋を自分で建てた。重機のオペレーターをしていたから、県内各地で仕事をし、村の道路も随分つくった。だからね、

村はそっくり庭のようだと今でも思っているよ。全村避難では、旧松川小仮設住宅に、末の娘夫婦と隣同士で入った。松川は地元の人もいい人ばかり。仮設の管理人さんも一生懸命で、本当によくやってもらったよ。私も自治会の役をやったが、仮設の住民も皆草刈り、ゴミ拾いに出て

来てくれて、団体生活を頑張っていた。焼肉や流しそうめんなんかもやったな。行政区も、区長さんを中心に、離れ離れになってもまとまってやってきた。役場や関係団体の協力もあつたことだ。避難指示解除は、「二からやり直し」の始まりだ。もともと末の娘が面倒を見ると言ってくれていたの、今は娘夫婦とその孫3人と暮らしている。それでも3日に1度は長泥に行って、敷地の草を刈ったりしている。家も何もないんだけど、そこで大きく深呼吸をするんだよ。399号線の道路先端にあるので、停めた車を見つけて、通りかかった人が寄って行く。部落の人間と話し込むのが一番いいよな。笑い事を語るんだ。村は人と人が近い。他ではそうはいかないよ。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

図書名…女の子はどう生きるか
著者名…上野千鶴子
岩波ジュニア新書

村民の方からのリクエスト本です

女の子はどう生きるか
上野千鶴子
岩波ジュニア新書

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー



皆さん、こんにちは。
協力隊2年目に入りました、松尾洋輝です。
最近では、「図図倉庫(ずっとそうこ)」でカフェがオープンし、僕はそこで、コーヒーを淹れるようになりました！

コーヒーは以前から大好きで、カフェでコーヒーを淹れるのはひとつの目標でもあったので、とても楽しいです。

営業日時はInstagramの方で発信中ですので、ぜひチェックしてみてください。
→(@zuttsokoで検索)

「図図倉庫」自体はまだ内装工事中ですが、カフェは営業してますので、お時間ありましたら気軽にお立ち寄りください😊



今月のライター
飯舘村地域おこし協力隊
松尾 洋輝 さん

おいしい飯舘！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

甘さを増す旬のミニトマトはまずはそのまま切らずにサラダがおすすめ



ミニトマトの巻



有機質肥料の養液を使った水耕栽培でミニトマトをつくっています。



鈴木秀範 さん
(上飯舘)

より甘くておいしいミニトマトを目指して
水耕栽培自体は100年程の歴史があるそうですが、有機質肥料を使いながら水質を保てるこの技術は画期的です。三重県の農研機構が取り組んでいる栽培技術を学び、研究会の一員となってミニトマトを栽培しています。新しい技術ですので、養液の調整など試行錯誤を続け、より甘くておいしいミニトマトをつくりたいと日々取り組んでいます。 ※レシピは妻の美智子さんから



たくさん採れたミニトマトは煮込んでつぶし皮を除いてソースに。塩・コショウ・少々砂糖で薄く味を付け冷凍保存しています。旨味の詰まったソースでパスタやグラタンがぐっとおいしく！



モリッアしやキーズと
パジルソースでアップレゼ

キーズをのせてグリル

スティック状に切ったジャガイモとベーコンを炒め、カットしたミニトマト、ブロッコリー、チーズをのせてグリル。





「わくわく」は お一人お一人に

第1回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



今月号から「愛楽故郷味（あいらくふるさとみ）」と題して、私が愛し、楽しむふるさと飯館村の「味わい」について書いていきたいと思います。と言いましても、これまでも巻末の欄外に3行以内くらいで、その時々気付かされたことなどを掲載してきましたので、こちらもご覧いただければ幸いです。

一回目は「わくわく」についてです。

今年度は、わくわくして「食べる」「味わう」ことが目白押しです。4月、5月の飯館産黒毛和牛の加工品（ポトフ、煮込みハンバーグ、すき焼き煮など）やA5ランク牛肉の道の駅での販売に始まり、村カフェ753さんによるゴロゴロ牛肉カレーパンの試作販売、二枚橋に新たにオープンした田舎料理レストラン「ラカッセ（La Casse）」での飯館産黒毛和牛のメニュー化など「飯館牛ブランド復活プロジェクト」が始動しています。

また今後、8月7日の夏まつり、いいいて風の子マルシェ&ライブキッチン、同日の道の駅5周年感謝祭、9月11日の敬老会、10月の商工会秋まつり、マルシェ「山の向こうから」、12月の冬まつり（イルミネーション、花火、クリスマスコンサート）など、村内の方々に「わくわく」していただけるイベント行事も企画しています。

まつり、いいいて風の子マルシェ&ライブキッチン、同日の道の駅5周年感謝祭、9月11日の敬老会、10月の商工会秋まつり、マルシェ「山の向こうから」、12月の冬まつり（イルミネーション、花火、クリスマスコンサート）など、村内の方々に「わくわく」していただけるイベント行事も企画しています。

どんなことに「わくわく」するかは、お一人お一人違います。「明日のパークゴルフが楽しみ」「地域サロンでどんな食事が出るのかな」「村で二旗揚げてやろう」など、『ちょっとしたことを持ち遠く感じることを待ち遠しく感じる』こと『生きがいや目標を持つて暮らすこと』も日々の「わくわく」につながるのではないのでしょうか。

9月初旬に住民懇談会を予定しています。ぜひ「ふるさとの担い手」である皆さまの想いをお聞かせください。

※イベント等については7月26日時点の予定です。

ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
菅野 慶一	関根・松塚
野田 愛	矢吹町

HAPPY WEDDING!



ひとのうごき 令和4年6月30日現在

人口	今月（前月比）	6月1日～30日までの人口動態
●男	2,471人（-7）	転入 5人
●女	2,446人（-5）	転出 9人
計	4,917人（-12）	出生 1人
世帯数	1,812戸（+3）	死亡 9人
		（住民基本台帳人口）

（6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

おくやみ



氏名	年齢	行政区
小山田 ナカ	93	前田
渡邊 ハツヨ	91	前田・八和木
佐々木 剛	57	佐須
庄司 ヒデ	98	関沢
川井 ミドリ	92	二枚橋・須萱
佐藤 廣明	83	小宮

ご冥福をお祈り申し上げます

ふるさと資源 発掘図鑑!



佐須のサロン再開

7月8日、佐須行政区が地域サロンを再開しました。菅野宗夫区長（右の写真）が「元気に明るく長生きできる地域に。楽しくやりましょう」とあいさつ。今後の活動については「（旧佐須小学校の）校庭でグラウンドゴルフはどう」「太鼓打ちもいいなあ」と話が弾んでいました。

リラックスした雰囲気です。百歳体操も

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会（村づくり推進課企画定住係）

☎0244-42-1613



古民家ギャラリーで

7月16日から5日間、江戸末期の民家を再建した建物（草野）で、彫刻家・渡辺一夫さんの作品展が開かれ、村内外から多くの方が訪れました。主催は「心の復興ワークショップ実行委員会」。会期中に開いたトールペイントのワークショップには約50人が参加し大盛況でした。

温もりと詩情に満ちた木彫作品42点を展示

村民広報委員
ふじおさんの



いいいて 宝さがし 第1回

♪はあーいよ♪ 今年や豊年だーよ。

今年も夏が来ました。どこからか懐かしい盆歌が聞こえてくるような気がします。

昔は飯館の各地で若者達を中心となった盆踊り大会が開催され、家族みんなで参加しました。おじさん、おばさん、子ども達も都会から帰省して、友人達と語り合い、酒を酌み交わし、ふるさとの夏のひとときを楽しんだものです。

誰にでもそんな盆踊りの心優しく大切な思い出があると思います。これからも、ふるさと飯館の盆踊りやいろいろな田舎の行事を少しでも伝承し、未来の子ども達に残していけたらいいと思っています。





松本さんはこの春まで地域おこし協力隊として活躍。矢野さんと合同会社を立ち上げました。

進化を続ける「拠点」に内外が注目
「図図倉庫」は人・モノ・コトをつなぐ場所

月の予定は
インスタで



松本奈々さん（深谷）と矢野淳さん（佐須）の地域づくり会社「マーブリング」が運営する『図図倉庫』。分野も地域も世代もさまざまな人々が関わる地域づくりの拠点です。拠点としての機能もさながら整備の過程も実験的でユニーク。都会の模倣や受け売りではない「彩度の高いイナカの創造」をビジョンに掲げます。

図図倉庫の整備には、すでに村内外の多くの人が関わっています。「ここにある一つひとつに人との関わりがあります。私たちは、人がつながる『のりしろ』をつくってきたい」。整備を続けながら、テナントの入居、展示、実験的な試みなどを受け入れます。「それぞれのやりたいこと、考えがあつていい。その上で未来を見ていきたいのです」。「図」の字には「目的のために工夫して努力する」という意味があるそう。人・モノ・コトをつなぎ地域と共に「ずっと」更新されていくのが『図図倉庫』なのです。

図図倉庫

飯館村深谷字二本木
5-1（旧コメリの建物）
合同会社 MARBLiNG
（マーブリング）



▲問い合わせ（メール）



建物の中心部分には可動式の壁面。夏は涼しく広々と。冬は壁面を仕切りに暖かく。



ワイファイ環境を整えたシェアオフィスとなるスペース。今秋の運用開始を目指します。

〈編集後記〉

● 22ページで紹介している『赤湯好山荘』。実は「赤湯」だけでなく「白湯」もあるんです。神経痛やリウマチに抜群の効果があり、痛みがひどかったのに帰りに元気に帰って行かれたお客様もいたそうです。山の中腹にあり、驚くほど涼しい場所でした。今度はゆつくり、お邪魔したいと思います。（菅野）

● 県道原町川俣線を通行中に車窓から見つけた花畑。何だろうと近づく「ダリア園」の文字が。三浦富二さん（深谷）が100種類のダリアを育て無料開放している場所でした。「お盆には見頃になって、霜が降るまで楽しめるよ」と三浦さん。満開を楽しみに待っています。（星）



Native Speakers 第16回

ネイティブ・スピーカーズ
飯館言葉の達人たち

ほしたらわいさ
やばっえ！

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で！

飯館村 YouTube

